



ハング・グライダー部

広島一 不器用な 鳥

理学部物理学科二年

徳田 靖之

広大ハング・グライダー部の紹介をする前に、まずハング・グライダーについて書いておかねばならないでしょう。ハング・グライダーはアルミパイプとナイロンで出来た三角形の翼です。これを操ってこの世界で一番鳥に近い人間、または一番不器用な「鳥」になるわけです。この鳥は自分で羽ばたかなくてできません。しかしトビは羽ばたかなくても空高くかけ、何時間も飛んでいられます。同じ様にハング・グライダーも三百mの山から飛び立ち千〜二kmの高度へ到達することが可能です。三〜四時間飛び続けることもできます。

僕等広大ハング・グライダー部は現在巣立つたばかりの六羽、巣立ち直前の一羽、飛び方をひよっこに教えた後、飛ぶことをやめた？羽から成り立っています。今年も元気のいいひよこを募集します。特別体力は必要としません。性別を問いません。ただ土、日が活動日なので、少なくともどちらか一日は参加でき、平日もひまなひよこがいいですね。

今これを書いている鳥は92年三月に巣立つて以来毎週飛びつづけ、自分が一番不器用な鳥であることを忘れる度、恐い目にあつてきました。が、何事もなく今も飛び続けています。不器用であることを自覚していればハングは安全なスポーツです。

祭 学 員 会 大 実 行 委 員 会

ごめんあそばせ!?

法学部法学科二年

林 通宏

私達、大学祭実行委員会、通称「実委」は、その名の通り学祭を取りしきるためのサークルです。といっても、ステージ上でショウをするといった華のある仕事をするのではなく、学祭が実現するためにしっかりとした骨組みを作る、というのが主な仕事です。その地道さゆえ、「実委は大変」というレッテルを貼られ、とかくマイナスイメージばかり強調さ



れがちですが、必ずしもそれだけのサークルではありません。確かに、六月の六月祭、秋の大学祭の前後は準備と反省で忙しく、連日夜九時ぐらいまでかかるともしばしばでした。しかしそこで培われた友情は何にもかえがたく、オフの時期には皆んなでドライブに行ったりスポーツをしたり、楽しく過ごしています。

そんな実委も、今転機を迎えています。総合科学部の移転に伴い、我々の活動も西条に移ること、そしてこの機会に大学祭自体をもっと全学的に開かれたものになろうという考えがあることがその主な理由です。我々はより良い学祭を作るため、今まさに正念場に立たされているのです。こんな時期ですが、いやこんな時期だからこそ、我々は新しい力を必要としています。老若男女を問わず皆様をお待ちしています。